

令和4年度

# 当初予算の概要

## - 幸せをはこぶ428のクローバー あじさい都市具現化予算 -

新しい総合計画の2年目となる令和4年度当初予算は、昨年度に引き続き「持続可能なまちづくり推進プロジェクトの実行」の視点により編成。さらに「あじさい都市具現化予算」と名付け、子育てしやすい環境の拡充や医療サービスの不足する地域への対策など、各種施策の推進を図ります。

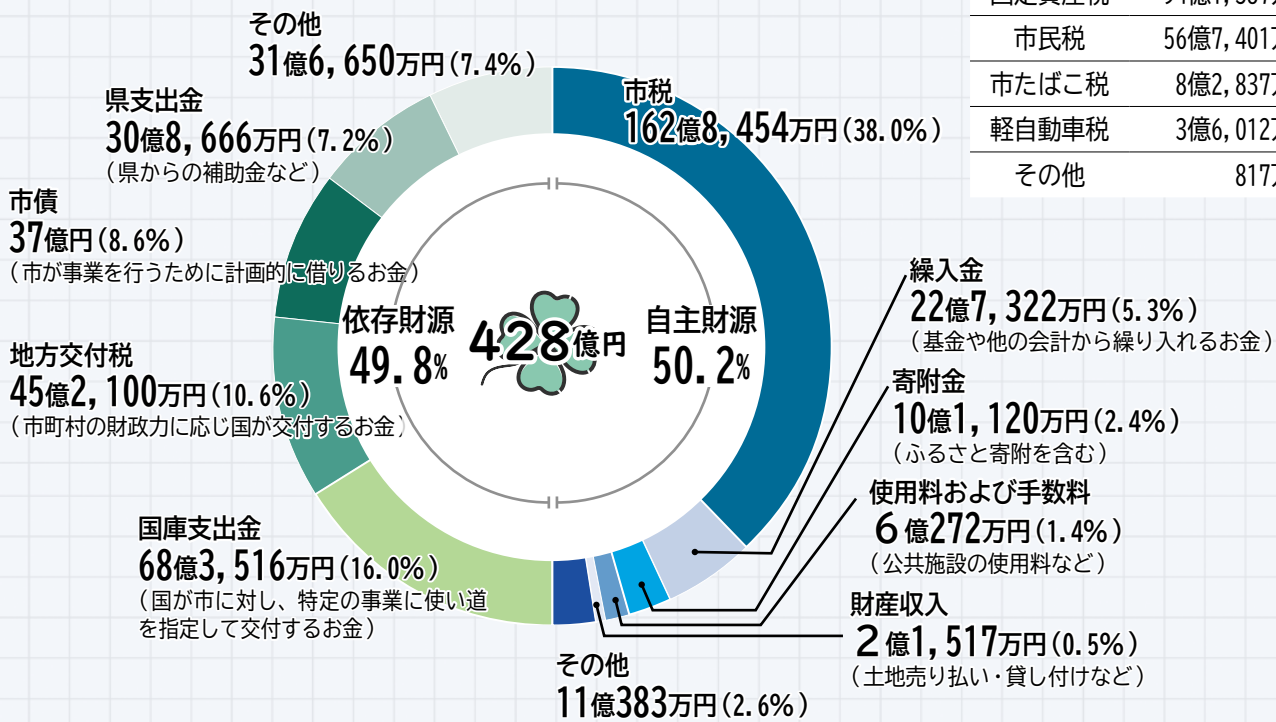
■問い合わせ 財政課 ☎72-8249

※持続可能なまちづくり推進プロジェクト…より良いまちにして未来につなぐため、戦略的に取り組むプロジェクトを「子育て寄り添い」など10の視点からまとめたもの。

### 歳入(市に入ってくるお金)

自主財源…市が自らの機能で調達するお金  
依存財源…国や県が権限・基準により交付するお金

市税の内訳	
固定資産税	94億1,387万円
市民税	56億7,401万円
市たばこ税	8億2,837万円
軽自動車税	3億6,012万円
その他	817万円



#### ■公営企業会計予算

会計名	項目	予算額
下水道事業会計	収益的収入	29億8,087万円
	収益的支出	29億222万円
	資本的収入	30億1,044万円
	資本的支出	40億5,275万円

※表示単位未満四捨五入のため合計が一致しません。

#### ■特別会計予算

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	72億300万円
後期高齢者医療特別会計	16億3,300万円
介護保険特別会計	83億7,600万円
工業団地事業特別会計	14億4,900万円
駐車場事業特別会計	9,021万円
宅地造成事業特別会計	1億400万円
電気事業特別会計	1億6,500万円
合計	190億2,021万円

▼特別会計予算・公営企業会計予算  
特別会計全体で前年度比7億422万円の増加となりました。国民健康保険特別会計は被保険者の減などにより2億1397万円の減少を見込むほか、さらなる企業立地促進のため工業団地事業特別会計は6億4379万円の増加を見込んでいます。

## ▼一般会計予算

一般会計の予算総額は、428億円。  
子どもの医療費無償化、東部地区統合学童保育所の建設などにより、過去最大となった令和2年度に次ぐ規模となりました。令和3年度予算を繰り越した東部地区統合小学校建設事業の実施も見込まれており、まちづくりを推進する予算として編成しています。

### 【歳入】

・誘致企業の設備投資が進んだことによる固定資産税の増加などで、市税は前年度比27億4908万円の増加見込み。  
・市税の増加と、国の地方財政対策を勘案し、地方交付税は前年度比5億4400万円の減少見込み。

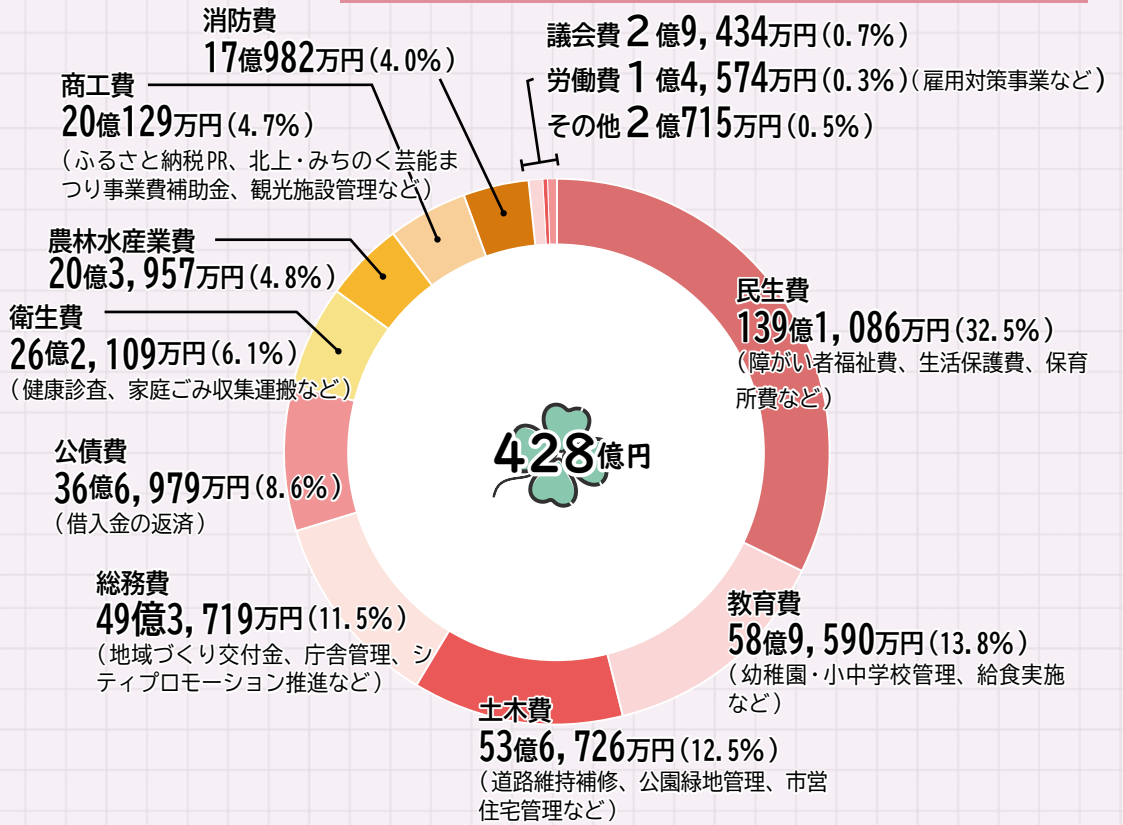
### 【歳出】

・子どもの医療費無償化、障がい者福祉費の増加などにより、義務的経費は前年度比1億6140万円の増加見込み。  
・東部地区統合学童保育所の建設などにより、投資的経費は前年度比2億1350万円の増加見込み。  
・除雪機会の増加への対応などのため、物件費は前年度比3億7595万円の増加見込み。



## 歳出（市が使うお金）

歳出の性質別内訳	
扶助費	81億3,931万円 (19.0%)
義務的経費	176億4,468万円 (41.2%)
人件費	58億3,561万円 (13.6%)
公債費	36億6,976万円 (8.6%)
投資的経費	49億4,724万円 (11.6%)
物件費	84億5,092万円 (19.7%)
補助費等	54億511万円 (12.6%)
その他の経費	202億808万円 (47.2%)
緑出金	30億267万円 (7.0%)
その他	33億4,938万円 (7.9%)



## ▼主要事業

高齢者公共交通利用促進事業  
8000万円

公共交通の利用促進と高齢者の外出支援のため、バスやタクシーの利用助成券を交付します。



都市拠点プロジェクト推進事業  
3756万円

北上駅前からツインモールのラザに至る市街地の土地の有効活用について調査などを行います。



モバイルクリニック推進事業  
691万円

医療機器を搭載した移動診療車を活用した、オンライン診療の実施に向け、準備を行います。

